

ケ ア ネ ッ ト セ ト ウ チ 通 信

笑顔で 長生き できるまち



在宅療養支援連携に係る連絡会を 開催しました



3月14日(火)在宅療養支援連携に係る連絡会を開催し、瀬戸内市内の居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所、病院の地域医療連携室による情報共有・意見交換を行いました。



瀬戸内市民病院、瀬戸内記念病院の地域医療連携室から、地域との連携をスムーズに行うための病院の取り組みや入退院支援の状況等について説明がありました。

また、平成29年4月から開始される「介護予防・日常生活支援総合事業」について、瀬戸内市保健福祉部いきいき長寿課から情報提供を行いました。トータルサポートセンターからは、瀬戸内市における在宅医療・介護連携推進事業等の取り組み状況を報告しました。

お知らせ

瀬戸内市では平成29年4月から、「**介護予防・日常生活支援総合事業**」が始まります。

介護保険では「要支援1・2」と認定された方に対し、全国一律の基準で「介護保険サービス(介護予防給付)」を行ってきましたが、高齢者のニーズが多様化し、一人ひとりの生活に合わせたサービスの提供が難しくなっています。

そこで、各市町村が高齢者の様々なニーズに対応できるよう「介護予防・日常生活支援総合事業」を地域の実情に合わせて行うことになりました。

この事業は、現在、要支援1・2の人が利用できる「訪問介護」と「通所介護」を介護事業所だけでなく、シルバー人材センターやボランティア団体等の提供するサービスも加え、地域全体で高齢者の日常生活を支えようとする事業です。必ずしも介護認定を受けなくても「基本チェックリスト」の結果等を参考に、生活に必要なサービスを受けられるようになります。

第4回 地域包括ケア推進全体研修会

みんなでつろう！笑顔で長生きできるまち ～多職種でつなぐ認知症ケア～



<慈圭病院 石津副院長>

基調講演

演題 「認知症における本人の意思決定支援を考える」

講師 公益財団法人 慈圭会 慈圭病院

(岡山県認知症疾患医療センター)

副院長 石津 秀樹 氏



<座長：邑久医師会 長田副会長>

平成29年1月24日(火) 第4回瀬戸内市地域包括ケア推進全体研修会を開催し、108名の参加をいただきました。

基調講演は岡山県認知症疾患医療センターである慈圭病院から石津秀樹副院長をお迎えし、「認知症における本人の意思決定支援を考える」と題し、お話しいただきました。

実践発表では「認知症ケアについて～それぞれの立場から～」をテーマとし、日頃の支援において各職種が認知症の方や家族へどのように関わっているか、地域で取り組んでいる認知症ケア等を事例も交え報告しました。

参加者からは「認知症の方の意思決定をどこまで尊重し、傾聴できていたか…自身の関わり方を振り返るきっかけになりました」「自分の立場や経験から判断することも大切だが、他の職種の方々の意見も聴き、ご本人・ご家族の思いを尊重したケアに努めたい」等の感想がありました。

認知症の方の意思決定を尊重し、それぞれの立場でできることを今後も多職種で考え、支援のネットワークを築いていきましょう。

<実践発表テーマ>

認知症ケアについて ～それぞれの立場から～

<発表者>

瀬戸内市立瀬戸内市民病院

作業療法士 坂本 真里 氏

社会福祉法人敬友会 邑久在宅介護支援センター

介護支援専門員 鶴海 誠大 氏

社会福祉法人誠和 グループホームあじさい

看護師 出井 都恵 氏

瀬戸内市地域包括支援センター

主任ケアマネ業務代行 黒原 和枝 氏



<多職種による実践発表>

始めました!!

在宅医療・介護への取り組み

～ケアネットせとうちの活動を ご紹介します～

第2回 高齢者入所施設合同研修会

【日 時】平成29年3月15日(水) 13:30～15:00

【テーマ】笑顔で長生き、利用者の生活の質(QOL)向上のために
～私たちにできる取り組みを共有する～

高齢者入所施設(養護老人ホーム・介護老人保健施設・特別養護老人ホーム)の職員を対象とした合同研修会は、平成28年10月に第1回の研修会を開催し、「各施設の取り組みに刺激を受けた。もっと意見交換をしたい!!」という感想を多くいただきました。

第2回研修会も各施設の職員の方々に企画運営係として協力をいただきました。「各施設で心がけていること、これから取り組みたいこと」をテーマとし、グループに分かれ、意見交換を行いました。



グループの意見

- ・簡単そうに思えることが、実は難しい。初心を忘れず、基本的なことを大切にしている。
- ・待つ介護(利用者の意思や行動を尊重する)を心がけている。
- ・電子カルテ等で事務負担を軽減し、時間を上手く配分できるよう工夫している。
- ・モチベーションを保つため、ストレスを溜めないよう気分転換している。
- ・職員から笑顔を届ける、チームワークを保つ、多職種と連携する等を心がけている。
- ・現場では職員不足であるが、入所待機者は多い。各施設で状況は異なるが、自分たちに何ができるのか考え、工夫し、良いサービス提供ができるよう努めていかなければと思う。



参加者からは「自分の心がけていること、今後取り組みたいことを再確認できた」「他施設の状況を知る機会になり、自分たちの施設の取り組みもしっかり伝えることができた」等の感想がありました。

高齢者入所施設合同研修会は今後も定期的に行われ、施設間の情報共有・意見交換を通じ、スキルアップに努めていきます。



せとうち カフェ



第10回

平成28年11月17日(木)

テーマ「地域のつながり

～地域に今、何が必要か～

地域について話し合いました

第11回

平成29年2月16日(木)

テーマ「みんなが活躍できる地域とは

～子どもも高齢者も障がいのある方も～



平成26年から定期的で開催しているせとうちカフェは、2月16日(木)で11回目の開催を迎えました。「この場で顔の見える関係ができ、日頃からの支援において連携につながっている」という声もあり、継続して参加されている方も増えています。

せとうちカフェでは、「**せとうちカフェ協力隊**」として運営を手伝っていただける方を募集しています。「自分も力になれるかも」という方は、瀬戸内市保健福祉部トータルサポートセンターまでご連絡ください。

市民講座「在宅医療・介護推進フォーラム」

開催のお知らせ

日時：平成29年5月13日(土)
13:00～16:00
場所：瀬戸内市総合福祉センター
2階 大会議室
定員：100名(事前申込み不要)
テーマ：住み慣れた地域で安心して暮らすために
～糖尿病を学んで健康寿命をのばそう!!～

ケアネットせとうちでは、市民講座「在宅医療・介護推進フォーラム」を開催します。

糖尿病に関する基調講演、地域での支援状況について多職種から実践発表を行います。

特設コーナーでは、服薬管理や口腔ケア、低カロリー食品・福祉用具等を展示し、高齢者・障がい者福祉に関する相談機関の紹介も行います。

地域における糖尿病予防や支援について、一緒に考えてみませんか。

<ケアネットせとうち事務局>

瀬戸内市保健福祉部 トータルサポートセンター

〒701-4246 岡山県瀬戸内市邑久町山田庄 845-1 (瀬戸内市立瀬戸内市民病院内)

電話：0869-22-3800

FAX：0869-22-3801

